

人権シンポジウム in 札幌

# 震災と人権

人権的観点から被災者支援・避難所運営を考える

参加費:無料

(事前申込制/先着順)

※空席がある場合は当日の参加も可能です。

人権イメージキャラクター  
人KENあゆみちゃん



人権イメージキャラクター  
人KENまるる君



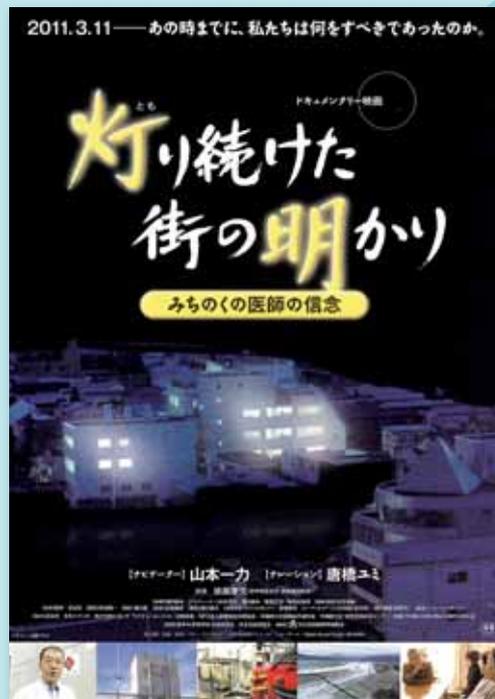
平成30年9月の北海道胆振東部地震では、多くの被災者の方々が避難生活を経験され、今なお多くの方々が仮設住宅での生活を余儀なくされています。

大災害への備えの一つとして、避難生活においてどのような配慮がなされるべきか、これまでの教訓を踏まえつつ、人権的観点から、改めて被災者支援や避難所運営の在り方などについて、皆さんで考えてみませんか。

## シンポジウム

コーディネーター 森田 明美 さん	パネリスト 千川原公彦 さん	パネリスト 岡野谷 純 さん	パネリスト 武田 真一 さん
東洋大学社会学部 社会福祉学科教授、 特定非営利活動法人子 ども福祉研究所理事長	ウェザーハート災害福祉 事務所代表	特定非営利活動法人日本 ファーストエイドソサエ ティ代表理事	宮城教育大学311いのちを 守る教育研修機構統括プ ロデューサー

## 映画上映&トークショー



後藤康文医師は、宮古市の開業医。東日本大震災のあの日、宮古の街中が停電・断水する混乱の中、後藤医院は自家発電により明かりを灯し続け、翌日には透析治療も再開しながら、200名近くを受け入れる避難所としての役割も果たしたドキュメンタリー映画の上映に引き続き、同映画の主人公とプロデューサーにこの映画に込めた思いをお話いただきます。



本作品主人公  
後藤 康文 さん  
後藤泌尿器科・皮膚科医院院長



企画・発案  
瀬川 徹夫 さん  
映画録音技師

日時

令和元年 9.29 日 13:30-17:00

会場

ANAクラウンプラザホテル札幌・3階「鳳」  
(※地図は裏面をご覧ください。)

内容

- 基調報告(70分)
- パネルディスカッション(40分)
- 映画「灯り続けた街の明かり」上映(45分)
- トークショー(30分)

【手話通訳・パソコン要約筆記あり】

申込



上のQRコードを読み取るとWEB受付フォームが表示されます。

### ● お問い合わせ先

公益財団法人 人権教育啓発推進センター  
「人権シンポジウム in 札幌」事務局

TEL 03-5777-1802 (代表)  
 FAX 03-5777-1803  
 E-mail sapporo2019@jinken.or.jp  
 URL http://www.jinken.or.jp

主催：法務省／全国人権擁護委員連合会／札幌法務局／札幌人権擁護委員連合会／公益財団法人人権教育啓発推進センター

後援：中小企業庁／中小企業基盤整備機構北海道本部／北海道／北海道教育委員会／札幌市／札幌市教育委員会／厚真町／厚真町教育委員会／安平町／安平町教育委員会／むかわ町／むかわ町教育委員会／北海道市長会／北海道町村会／北海道新聞社／朝日新聞北海道支社／読売新聞北海道支社／毎日新聞北海道支社／日本経済新聞札幌支社／北海道建設新聞社／北海道医療新聞社／北海道住宅新聞社／室蘭民報札幌支社／十勝毎日新聞社札幌支社／函館新聞社札幌支社／北海道通信社／共同通信社札幌支社／時事通信社札幌支社／NHK札幌放送局／HBC北海道放送／STV札幌テレビ放送／HTB北海道テレビ放送／UHB北海道文化放送／TVhテレビ北海道／STVラジオ／エフエム北海道／エフエム・ノースウェーブ／北海道医師会／札幌市医師会(順不同/予定)

みんなの人権110番

ゼロゼロみんなの ひやくとおばん  
0570-003-110

子どもの人権110番

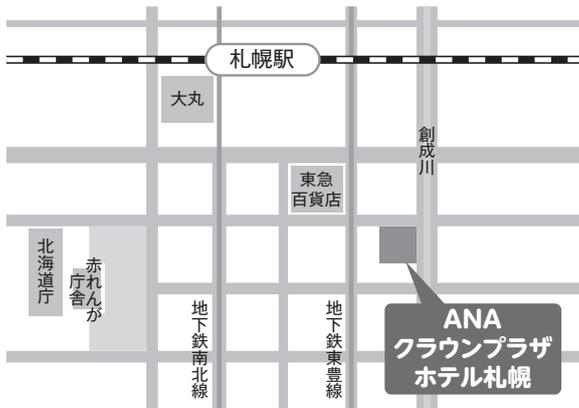
ゼロゼロなのの ひやくとおばん  
0120-007-110

女性の人権ホットライン

ゼロナゼロの ハートライン  
0570-070-810

# 人権シンポジウム in 札幌「震災と人権」 9月29日(日)

● **会場** ANAクラウンプラザホテル札幌・3階「鳳」  
(〒060-0003 札幌市中央区北3条西1丁目2-9)



● 左の QR コードを読み取ると WEB 受付フォームが表示されます。



上記ウェブフォームかFAXでお申し込みください。FAXでお申し込みの場合は、下の記入欄に必要事項をご記入の上、FAXしてください。

## 参加申込書 (事前申込制 / 先着順)

FAXでの申し込み

# FAX 03-5777-1803

団体(法人名等) 部署名(部・課等)		
お申込者氏名		
ご連絡先	TEL	FAX
	Eメール	

情報提供希望

当センターでは、人権に関する各種資料の制作、販売、研修会・各種イベント等に関する情報をメールで配信しています。情報提供をご希望の方は、上記の「Eメール」欄にアドレスをご記入の上、左の□欄にチェックしてください。

※参加申込時にご記入いただいた個人情報につきましては、本事業及び当センターからの情報提供（希望されない方は除く）以外の目的には使用いたしません。

【事前申込締切日】 **9月27日(金) 16:00 まで** ※先着順 / 空席がある場合は、当日の参加も可能です。(受付にてお申し出ください。)

【入場券について】 参加申込み受付後、約2週間以内に、参加整理券をFAXまたはEメール等でお送りします。シンポジウム当日は、参加整理券をお持ちの上、受付にてご提出ください。

公益財団法人 人権教育啓発推進センター「人権シンポジウム in 札幌」事務局

〒105-0012 東京都港区芝大門2-10-12 KDX 芝大門ビル4F

“育てよう 思いやりの心” へのお手伝いを

人権ライブラリー

Human Rights Library JAPAN

Tel 03-5777-1919 / Fax 03-5777-1954

人権に関する図書、DVD等資料、無料会議室をお探しの方は、人権ライブラリーまでお問い合わせください

<http://www.jinken-library.jp>



だれでも参加  
できるよ!

**参加無料**

(事前申込制/先着順)

※空席がある場合  
には、当日の参  
加も可能です。

# ハンセン病に関する 親子のシンポジウム

静岡  
会場

「正しいことを知らないということが心に『偏見』という壁を作り人を傷つける」

第36回全国中学生人権作文コンテスト法務副大臣賞受賞作品「ハンセン病を知って学んだこと」より

令和元(2019)年

13:30-17:30  
(開場12:30)

8.31 土

【手話通訳・パソコン要約筆記あり】

## 基調講演(25分)

小鹿 美佐雄 さん(国立駿河療養所 駿河会会長)

## パネルディスカッション(40分)

### ●パネリスト/中学生、高校生、大学生

静岡雙葉中学校 静岡県立沼津商業高校 静岡大学

### ●コメンテーター

石井 則久 さん(国立駿河療養所所長、国立療養所多磨全生園園長)

小鹿 美佐雄 さん(国立駿河療養所 駿河会会長)

藪本 雅子 さん(フリーアナウンサー/元日本テレビアナウンサー・記者)

### ●コーディネーター

田南 立也(公益財団法人 人権教育啓発推進センター 専務理事)

## 映画「あん」上映(113分)

## トークショー(30分)

永瀬 正敏 さん(俳優)

藪本 雅子 さん

(フリーアナウンサー/  
元日本テレビアナウンサー・  
記者)



「あん」主演の永瀬正敏さんと

長年ハンセン病問題に取り組んでいる藪本雅子さんがトークショーに登壇!



第68回カンヌ国際映画祭 「ある視点」部門オープニング作品  
パレッタ映画祭長編コンペティション部門最優秀作品賞 同 最優秀女優賞 (樹木希林)

## 映画「あん」を見た方々の感想

とても感動しました。ハンセン病について深く学ぶことができ良かったです。  
映画を通してハンセン病のことを知ることで心に響きました。  
人の生きる意味を考えることができました。

ハンセン病への誤った知識や偏見等により、差別が行われるようなことがあってはなりません。ハンセン病患者等に対する偏見・差別の解消を目指し、ハンセン病を正しく理解していただくため、親と子で考えるシンポジウムを開催します。誰一人取り残されない、誰もが生き生きと暮らすことのできる社会を実現するために皆さんで考えてみませんか?

参加者の中から抽選で3名様に永瀬正敏さんのサイン入り色紙をプレゼント!

人権イメージキャラクター 人KENまる君

## ●問合せ先 QRコードを読み取るとWEB受付フォームが表示されます。▶

公益財団法人 人権教育啓発推進センター  
「ハンセン病に関する親子のシンポジウム」事務局

TEL 03-5777-1802 (代表) E-mail hansen2019@jinken.or.jp  
FAX 03-5777-1803 URL http://www.jinken.or.jp



※駐車場の数が少ない為、公共交通機関の利用をお願いします。

※諸事情により内容が変更になる場合があります。

主催：法務省/厚生労働省/全国人権擁護委員連合会/静岡地方法務局/静岡県人権擁護委員連合会/公益財団法人人権教育啓発推進センター

後援：文部科学省/中小企業庁/日本財団/静岡県/静岡県教育委員会/静岡市/静岡市教育委員会/沼津市/沼津市教育委員会/御殿場市/御殿場市教育委員会/裾野市/裾野市教育委員会/国立駿河療養所/静岡県市長会/静岡県町村会/静岡県PTA連絡協議会/静岡新聞社/静岡放送/朝日新聞静岡総局/読売新聞静岡支局/毎日新聞静岡支局/産経新聞静岡支局/共同通信社静岡支局/時事通信社静岡総局/NHK静岡放送局/テレビ静岡/静岡朝日テレビ/静岡第一テレビ/K-mix/76.9 FM-Hit/マリナビル 76.3/COAST-FM/すろーかる/静岡時代(順不同)(予定)

みんなの人権110番

ゼロゼロみんなの ひゃくとおぼん  
0570-003-110

子どもの人権110番

ゼロゼロみんなの ひゃくとおぼん  
0120-007-110

女性の人権ホットライン

ゼロナゼロの ハートライン  
0570-070-810

# ハンセン病に関する

令和元(2019)年

## 「親と子のシンポジウム」静岡会場 **参加申込書**

**8月31日(土)**



●左の QR コードを読み取ると WEB 受付フォームが表示されます。



FAXでのお申込みの場合、①お名前、②電話番号、③ファックス番号、④Eメールアドレス、⑤備考(特段の配慮が必要な場合)、⑥人権センターからの情報提供の可否 をご記入の上、事務局まで送信してください。

# FAX 03-5777-1803

お名前	(フリガナ)	
ご連絡先	TEL	FAX
	Eメール	
※車いす席の使用等、特段の配慮が必要な場合、その旨をお書きください。		

情報提供は不要

人権センターからの情報提供が不要な方のみ、左の  にチェックしてください。

※参加申込時にご記入いただいた個人情報につきましては、本事業及び当センターからの情報提供(希望されない方は除く)以外の目的には使用いたしません。

### [事前申込み締切日] 令和元(2019)年8月30日(金) 16:00 まで

※定員に達し次第、事前申込みを終了いたします。あらかじめご了承ください。

#### ●入場券について:

参加申込み受付後、約2週間以内に、入場券をFAX又はEメールでお送りします。シンポジウム当日は、入場券を受付にてご提出またはご提示ください。 ※空席がある場合には、当日の参加も可能です。

### 公益財団法人 人権教育啓発推進センター「ハンセン病に関する親と子のシンポジウム」事務局

〒105-0012 東京都港区芝大門2-10-12 KDX 芝大門ビル4F

TEL:03-5777-1802 (代表) / FAX:03-5777-1803

Eメール:hansen2019@jinken.or.jp / ウェブサイト:http://www.jinken.or.jp / twitter:@Jinken\_Center

YouTube「人権チャンネル」<https://www.youtube.com/jinkenchannel>



Tel 03-5777-1919 / Fax 03-5777-1954

人権に関する図書、DVD等資料、無料会議室をお探しの方は、人権ライブラリーまでお問い合わせください

<http://www.jinken-library.jp>